# 図書館便り

土佐小・中学校

2011年10月26日（水）

# 第65回読書週間

１９４７年11月７日から、「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」と出版社や図書館、新聞社などにより、第１回読書週間が開催されました。翌年の第２回からは、期間が10月27日～11月９日（文化の日を中心とした２週間）となり、行事として定着してきました。

今年の読書週間のテーマは、「信じよう、本の力」です。27日は、文字・活字文化の日にもなっています。秋の夜長、お気に入りの本を読むのもいいですね。小学校の国語の教科書は今年新しくなったので、中学生が読んでみても親子で読んでみても会話がはずむかもしれませんね。また、新聞を読むのもいろいろな情報を得られます。図書コーナーでも、こども新聞をみたり、切り抜きを読んでいる人が増えてきました。読書週間中にもたくさんの本を読んでもらいたいので、家庭でも声掛けをよろしくお願いします。

## 自然がいっぱい土佐町の秋

図書館コーナーのテーブルの上には、むべ・あけび・からすうり・こむらさき・ドングリなど山からの贈り物がいっぱい。

「先生、これ食べれるが？」「どっちが、あけび？」「食べると甘いけど、種が多いでね。」「いちょうの実は、においがすごいねえ。」と、話がはずみます。

見たことはあっても、名前を知らなかったものを図鑑で調べたり、さわってみたりと学習の場にもなっています。

これから、冬に向けてどんなものを登場させようかと考えています。

**「地震のサバイバル」**
地震が来た時にどうしたらいいかをみんなに分かるように漫画にして書いています。

**「からくり夢時計」**
小６の聖時は、年のはなれた兄と大げんか。部屋にかくれこむとそこで不思議な鍵を発見・・・

**「はなかっぱ、ぼくらはヒーロー」**
はなかっぱくんとカラバッチョ・コケマンが、かっこいいヒーロー？に変身。大丈夫かな？

10月の図書委員会からのおすすめの本です！

図書館便り返信欄　　（　　）年　名前（　　）